

全国高等専門学校デザインコンペティション 2017 in 清流の国ぎふ

メインテーマ【デザインが天下を制する】

空間デザイン部門 募集要項

テーマ：「物語（ナラティブ）を内在する空間」

1. 課題概要

織田信長は、それまでの慣習や旧来的な秩序を破り、新しい世界を作ろうとしました。自由な経済の場としての楽市楽座、失われた安土城。実現しなかったが故に、信長の描いた世界の残滓を手掛かりとして、私たち自身の中で様々な物語の続きを想像することができます。信長の物語は、我々自身が想像力を喚起される物語（ナラティブ）なのです。

ナラティブとは、物語を意味する言葉です。それは、あらかじめ起承転結が明確になっている物語（ストーリー）ではなく、かつておばあさんが囲炉裏を囲んで子供達に語るおとぎ話が子供達にとってドキドキワクワクするものであったように、主体にとって体験される物語、その先が予期できない物語です。

地域にナラティブを孕んだ空間が埋め込まれることで、再び活気を取り戻し、生き活きとした地域が蘇らせることができないでしょうか。わたしたちの周りに素敵な出来事や出会いを生み出し、日々、予期しない驚きに満ちた豊かな世界を生み出すことはできないでしょうか。そこで全国高専デザコン 2017 空間部門のテーマを「物語（ナラティブ）を内在する空間」とします。

ここで少し、物語（ナラティブ）を内在する空間について考えてみましょう。

かつての通りは、住まいと道が結びつくことで、人々の中に生活の物語、コミュニケーションの物語を生みだし、また、活気ある市（マーケット）では、人々の中に小さな様々な物語が生成していました。道や市は、機能を超えて、物語を生み出す装置だったわけです。また、今、盛んに取り組まれている古民家や古ビルを対象としたセルフリノベーションは、民家が歩んできた歴史や、従来の機能を使用者が解釈しなおすことで、新しい意味を作り出し、新しい物語を生み出す実践です。

地域の歴史、文化、風土から、ナラティブを生み出す仕組みを発見し、想像力を働かせ、従来の境界を超えて、地域環境を使用するわたしたちの前に新たな物語が生き生きと生成する。あるいは地域環境の使用者であるわたしたち自身が豊かな物語を生み出し始めるような空間を提案してください。かつて信長が夢見たように新しい世界を拓く君たちの提案が全国を駆けめぐると、のびのびとした、豊かな発想を求めます。

～審査員から皆さんへのメッセージ～

様々な地域に特有の歴史、文化、風土があるように、物語（ナラティブ）を内在する空間にもひとつの答えはありません。元気のなくなった場所に活気を取り戻したり、何気ない風景を一新させるきっかけを与えたり、その場を使う人たちがワクワクするような未来を描いてもらいたい。世界の未来は、観察・洞察・考察から生まれたアイデアを上書きしていくことで輝くと信じていること。どんなに遠くても一度行ってみたい、その場を体験したくなるような、既存概念にとられないナラティブを内在する空間を期待しています。（宇野享）

人と人、人と自然、人とモノ・・・ナラティブの主人公はいつも「人」です。
地域の歴史、文化、風土をテーマに、ナラティブを内包する空間で、その「人」が新たな発見、新たな出会い、新たな好奇心を育み、何が生まれ、何が変わるか？・・・そのための建築はどのようにあるべきかが求められています。
みなさんの若く柔軟な発想が、私達に大きな刺激を与えてくれるような提案を楽しみにしています。(若林亮)

「ナラティブ (物語)」は、世代を超えて、伝える人、聴く人、または受け継ぐ人がいて成立するコミュニケーションのあり方の1つです。そんな人たちが息づき、自然と集まるような空間で、地域の歴史や文化、風土、何気ない日常などが生き活きと語られ、新たな視点で見つめ直され、そして新たに創られるような提案を期待します。また、そこで暮らす人たちだけではなく訪れる人も、物語を創出し、語り継ぐ担い手となるような空間もあっていいのではないかと思います。(大宮康一)

2. 設計条件

- (1) 敷地及び空間は実在する場所を対象としてください。
- (2) 対象地域や敷地等の現状や、歴史・風土を手がかりに発想し、それを示すこと。
- (3) ソフト面による提案を含む、建築及び空間デザインを求めます。
- (4) 既存建築物を対象とする場合、法令等の制度上の問題については必ずしも遵守する必要はありませんが、制度上の問題を提案の背景とする場合も考えられることから、提案内容によって適宜考慮してください。

3. 競技方法

空間デザイン部門は予選と本選に分けて実施します。

3. 1 予選

- (1) 審査員によるプレゼンテーションポスターに基づく審査の結果、本選に出場する 10 点程度を選出します。
- (2) 審査結果はホームページに掲載するほか、応募された各高専の学生課宛に e-mail により連絡します。
- (3) 審査結果は、10 月上旬に発表します。

3. 2 本選

本選では、次のプレゼンテーションに基づいて審査員による評価を行います。

- (1) ポスターセッション

ポスター、模型等を用いたプレゼンテーションおよび審査員との質疑を行います。

プレゼンテーションスペースとして、各チームに幅1,800mm奥行き1,200mm高さ1,800mmの空間を用意しますので、与えられた空間の範囲内で自由に積極的な表現を行ってください。
(発表者の発表スペースを含む)

ポスター・模型を展示するため、衝立、机を各1台主催者側で用意します。

また、会場へはエレベーターを利用するため、エレベーターのかご室寸法(幅1,600mm、奥行き1,500mm、出入口幅900mm)で搬出入出来る様に工夫すること。

発表は、1チームあたり、説明7分、質疑応答8分とします。そのほか詳細については、10月中旬から下旬に公開する本選要項にて通知します。

(2) プレゼンテーション

スライド及び模型(CCDカメラ又はビデオカメラ)を用いた口頭発表とします。プレゼンテーションは、ポスターセッションと会場が異なるため、模型等を利用したプレゼンテーションを行う場合は、速やかに移動、準備が出来るよう配慮をお願いします。

発表は1チームあたり発表7分、質疑応答6分とします。

ポスターセッションでの講評やコメント、他の参加者との交流を元に、ポスターセッションの内容をブラッシュアップしたうえで、プレゼンテーションに臨むこと。

4. 応募方法

4. 1 予選

4. 1. 1 提出物

(1) プレゼンテーションポスターA1版 パネル1枚(横向き)

- ・3mm厚のスチレンボードに貼り、パネル化してください。
- ・ポスター裏右上隅にエントリーシート(HPからダウンロードできます。)を貼ってください。
- ・立体物を貼らないでください。
- ・応募者の氏名・所属がわかるものの記入は認めません。

(2) プレゼンテーションポスターの画像データ(PDF形式またはJPEG形式)

- ・画像データをPDF形式またはJPEG形式として保存されたCD-RまたはDVD-Rを提出してください。
- ・記憶媒体の表面に、高専名と代表者名を油性ペンで記入してください。

4. 1. 2 提出期間、提出方法、提出先

(1) 提出期間：平成29年9月4日(月)～9月8日(金)17:00必着

(2) 提出方法：持参または郵送

受領確認は、応募された各高専の学生課宛にe-mailにより連絡します。

(3) 提出先：〒501-0495

住所 岐阜県本巣市上真桑2236-2

岐阜工業高等専門学校 デザコン空間デザイン部門担当事務局

e-mail: dc17-kukan@gifu-nct.ac.jp

4. 2 本選

本選の詳細に関しては、10月上旬に予選通過者に直接通知するとともに、ホームページで公開します。

5. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生および専攻科生を対象とします（所属学科および専攻は不問）。
- (2) チームは1～4名で構成してください。
- (3) 同一部門で同一人物が複数の応募チームに参加することはできません。
- (4) 予選でエントリーしたメンバーの本選での変更は認めません。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について：

デザコン2017では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AMデザイン部門の3部門のうち1部門にしか応募することができません。デザイン対象が同一あるいは他部門と重複する場合には最も適当であると判断する部門にエントリーしてください。ただし、この3部門で予選を通過できなかった場合には構造デザイン部門への応募は可とします。

6. 審査委員および審査方法

6. 1 審査委員

委員長：宇野 享 C+A 大同大学工学部建築学科教授

委員：若林 亮 (株)日建設計 設計部門代表

委員：大宮 康一 岐阜大学地域協学センター特任准教授

6. 2 審査方法

予選・本選とも審査は審査員の協議によります。

7. 質疑応答

課題内容、設計条件に関する質疑応答は行いません。提出方法、日程等の事務的な質疑に関しては、e-mailのみ受け付け、質疑への回答はホームページ上で公開します。

宛先は、下記の担当まで連絡をお願いします。

岐阜工業高等専門学校デザコン空間デザイン部門担当事務局

email: dc17-kukan@gifu-nct.ac.jp

8. 表彰

- (1) 最優秀賞 1点
- (2) 優秀賞 2点
- (3) 審査員特別賞 2点

9. 参加費

予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加者は1名あたり1,800円とします。

予選審査費及び本選参加費は10月23日(月)までに以下の口座にお振り込みください。なお、

振り込まれた審査費及び参加費はいかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。参加費については、ホームページを参照してください。

【振込口座】

銀行名 十六銀行
支店名 北方支店
種別 普通預金
店番 201
口座番号 1627075
口座名義 全国高専デザコン事務局
フリガナ ゼンコクコウセンデザコンジムキョク

10. 付記

- (1) 予選に提出された応募作品は原則的に公開を予定しています。
- (2) プレゼンテーション資料および予選通過者の作品紹介の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を行うこととします。
- (3) 応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとします。
- (4) 応募要項に違反した場合は失格となる場合があります。
- (5) 予選提出作品は返却しません。
- (6) 応募作品の著作権は基本的に製作者に帰属しますが、主催者の使用を妨げないものとします。
- (7) 応募作品の取り扱いについては、主催者が最善の注意を払いますが、天災等の不可抗力による損傷については責任を負いかねます。
- (8) オフィシャルブックには応募作品と共に参加者、担当教員の氏名が記載されます。また、肖像権の取扱については、参加者からの申出がない場合、肖像権の使用に同意をいただいたものとします。